

宮崎学園高等学校インターアクト部 「Pamodzi」

高校生ボランティア・アワード2024

PAMODZI ～ともに～

—マラウイ共和国—



- 面積は約111万km² ← 日本の3分の1
- 人口は約2000万人 ← 日本の6分の1
- 国旗のマラウイ共和国の国旗は、黒は国民を表し、赤は独立運動で流された尊い血を、緑はマラウイの雄大な自然を表現している。
- 国民の74%が1日1\$で生活する。
- 識字率は都市部が91%、農村部68%
- 水道普及率は70%（日本は98%）
- 国の財政は多くを農業が占めており人口の90%が農業に従事している
ex) 綿花、コーヒー、トウモロコシetc




現在の活動

現在私達が行っている活動は

- マラウイへの支援
- 地雷ゼロ宮崎
- その他のボランティア




I. 私たちはバッグの販売を行っています。私たちは現地の女性団体とテレビ電話を使用してバッグのオーダーを行っています。また、近年新型コロナウイルスなどの影響もあり地元宮崎県の就労支援B型事業所にバッグを作っていただいています。この活動を通して、グローバルな活動に立ち上がる壁を地元の方々と協力しローカルな活動も取り入れています。コロナウイルスが流行する前はマラウイとのみ行っていましたが、現在はコロナが規制緩和された今ではマラウイと就労支援B型事業所の二本柱で活動しています。コロナウイルスが流行したことは良いことではありませんが少しでもプラスに捉えることができるといえます。その他にも私たちは学校内でコーヒーや紅茶の販売を行っています。コロナが明けた今ではマルシェやイベントでのバッグ販売と同じように行っています。昨年12月の青島太平洋マラソンでは200杯以上のコーヒーを売りました。この販売での売り上げはマラウイの子供たちへの給食費の支援をしています。消費者にこのことを伝えることでインターアクト部の活動を学校外の方々に知ってもらうことで支援の輪を広げることができます。

II. カンボジアでは現在も600万個の地雷が埋められています。そこで私達は、宮崎で作られているお米を販売し売り上げの一部をカンボジアの農村へ寄付しています。私たちが実際に学校で販売を行い多くの人が活動に協力していただきました。

III. 私達は今年ボランティア活動を積極的に行いました。例えば宮崎県が宝島されてから140年がたった節目の年として開かれた宮崎県人会世界大会のボランティアなどに参加しました。これからは宮崎県内だけでなく宮崎県外のボランティア活動や国際理解への活動に参加して、そこで得た知識や経験をPamodziに還元していきたいと思っています。

支援額の割合



- バッグ
- コーヒー
- その他



pamodzi...
チェリ語で、「共に」という意味です。共に、それぞれの幸せに向かって歩いていきますようにという思いが込められています。



世界中の人がみんな happyに！
私たちの商品は、malawiの人たちに贈るオーダーしているものと、国内の自営事業所のみなさんに、マラウイ布を使って、製作してもらっているものがあります。

pamodziの商品にある「m」の刺繍は Malawiと私たちが住むMiyazakiの頭文字「m」を意味しています(*▽*)




マラウイ×宮崎JK の挑戦
を引き継いだ僕たちは
マラウイ×日本×宮崎
にパワーアップしました。

マラウイへのオーダーに加えて、マラウイ布を用いた商品を地元のB型事業所さんにオーダーしています。僕たちの新しいチャレンジをみなさんにお話できることを楽しみにしています。